

## 修得目標 診療放射線学科

学科の修得目標		全学の修得目標	4要素	
レベル1	レベル2			
A	医療放射線分野の基礎から高度な専門的知識や技能までを有し、実践的能力を備えている	1 放射線分野に関係する基礎分野（理学・電気工学・電子工学・機器学）と専門分野（技術学・検査学）の学修内容の関連性について分析・議論できる	自律・自立して学修できる	態度・志向性
		2 各種装置の動作原理、構成及び保守管理と安全性を説明し、性能評価法を実践できる		知識・理解
		3 各種画像診断、核医学検査、放射線治療分野、それぞれの方法や症例について説明し、手技、装置操作などを実践できる		態度・志向性
		4 学修した専門分野の知識や技術を活用し、実験・実習における計画立案、結果の整理・考察について議論できる		汎用的技能
		5 口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーション能力を活かして、学内外の研修会や学会に参加し、発表や文章を作成できる	口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する	汎用的技能
B	自然科学・理工学領域と医療・保健・福祉の専門的な知識を共有し、積極的学習意欲を持ち、専門的な学術の発展に寄与できる能力を備えている	6 人体の構造と機能及び疾病、症状、診断法、治療法などを説明できる		知識・理解
		7 医学・物理学・数学・工学的問題や現象を分析し、問題点を説明・議論できる	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる	汎用的技能
		8 文化、社会、自然に対する幅広い関心を有し、医療人としての倫理観について説明できる	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する	知識・理解
		9 各種検査・装置において、科学的特性や生物学的因子について、基礎から臨床応用への知識と技術を論理的に思考し、自らの意見を主張できる		汎用的技能
		10 各分野・領域について、多角的な視野や教養を身に付けて、データ収集・整理、分析・考察、結論などの論理的思考を説明し、議論できる	多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる	汎用的技能
C	生命と人間に尊厳を有し、人間性豊かな医療人として責任感と協調性を持ち、地域社会に貢献する強い意欲を備えている	11 患者とのコミュニケーション能力を身につけ、診療現場で必要な実践的な知識・課題などを分析し、問題提起やその解決法を議論できる	協働作業によって新たなものを構築することができる	態度・志向性
		12 臨床的な知識や技術を有し、国際的な観点から物事を判断することができる	多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる	知識・理解
		13 医療専門職として、生命と尊厳への理解、豊かな人間性と高い倫理観を有し、多くの倫理的課題について、議論し自分の意見を主張できる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力

